

様 式 C - 7 - 1

平成30年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究代表者	部局	人間生活文化研究所		
	職	講師		
	氏名	下田 敦子		

1. 研究種目名 基盤研究(B)(一般) 2. 課題番号 18H00967

3. 研究課題名 ミャンマー135民族の民族服製作技術の残存調査と技術学習過程の最適化方法論の開発

4. 研究期間 平成30年度～令和3年度 5. 領域番号・区分 -

6. 研究実績の概要

東南アジア諸国の博物館等には多様な少数民族の民族服が保存展示されているが、民族服の製作技能保有者、継承者は全域的に激減しつつある。彼らの社会の始どが無文字社会の為に学習マニュアルや文字資料が残されておらず消失が危惧されている。本研究ではミャンマーの135全民族の伝統的正装・民族服の製作技術を保存し、継承者の学習を容易にする為に教育科学的合理性をもつ学習過程の開発・提案を行い、その製作技術と民族服文化を後世に継承する為の基礎研究を行う。

初年度である2018年度は、4月に国内メンバーによる準備会を開催し、役割分担を確認するとともに、「調査員調査手引き」を作成した。これを使用して5月にミャンマーの協力機関(大学)において調査協力者、調査員を対象とした研修と標本資料収集に向けた準備を開始した。次いで7月には、135全民族の伝統的正装・民族服(男女計270)の現物標本資料の収集を開始した。収集した標本は番号を付し、収集時の情報(収集日、収集場所、収集者、資料提供者、製作者等)を文字情報として保存した(標本整理)。さらに詳細な調査(標本資料の寸法計測、製図、民族服の特徴を固有属性(糸の種類・織り方・文様の種類・形状の特徴等)の抽出)のための準備を行った。

民族服製作技能保有者と継承者・学習者を探し出し、民族服製作に関する経歴に関する実態調査(性別・年齢・居住地・製作可能な民族服(正装)の種類・保有技術の種類等)を開始した。

2月、調査研究の拠点であるミャンマーの協力機関(大学)において、次年度に向けた調査研究の打合せを行った。

7. キーワード

ミャンマー135民族 民族服製作技術 無文字社会 技術学習過程 最適化方法論

8. 現在までの進捗状況

区分 (2) おおむね順調に進展している。

理由
調査研究の拠点であるミャンマーの協力機関(大学)においては、従来どおり受け入れ体制が極めて良好であったため、おおむね順調に遂行することができた。同大学においては博物館を有しており、この設備、人員(学芸員を含む)を本研究課題遂行のために提供して頂いた。膨大な数の民族標本資料の整理、調査を進めることができた。

2 版

9. 今後の研究の推進方策

今後も引き続き民族服の現物標本資料と製作用具の収集を行う。収集した標本資料は順次、寸法計測、製図をしていく。同時に民族服については固有属性（糸の種類・織り方・文様の種類・形状の特徴等）を抽出する。
民族服製作技能保有者と継承者・学習者を対象として保有技術の種類や民族服製作の経歴に関する実態調査を継続して行う。技能保有者には個々の技術要素を再現してもらい映像、文字で記録し、技術用語については録音して技術用語集を編纂するためのデータを収集する。これらをもとに「民族服データベース」の構築をしていく。
収集した民族服から抽出した固有属性をもとに民族服の固有属性データマトリックスを作成しクラスター分析を施し民族服を分類する。以上のとおり研究計画に基づき遂行していく。

10. 研究発表（平成30年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著論文 4件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 Seiji Ohsawa and Atsuko Shimoda	4. 巻 28
2. 論文標題 The growth of height in early childhood determines the height of Japanese people (From the school health survey, 1900-2017)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Human Culture Studies	6. 最初と最後の頁 493-498
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.9748/hcs.2018.493	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大澤清二、下田敦子、シスコタミットS、プラディットN	4. 巻 80
2. 論文標題 思春期の身長発育スパートが見られないムラブリ人について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発育発達研究	6. 最初と最後の頁 30-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.5332/hatsuhatsu.2018.80_30	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 下田敦子、大澤清二、タンナイン、ジョネイ	4. 巻 81
2. 論文標題 生涯にわたる首輪装着がカヤン女性の首の長さをどのように変えるか：いわゆる首長族、カヤン女性の幼児期から70歳までの首の長さの年齢変化について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発育発達研究	6. 最初と最後の頁 10-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.5332/hatsuhatsu.2018.81_10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 大澤 清二, 下田 敦子, シスコンタミット サターバン, プラディット ナリット	4. 巻 81
2. 論文標題 狩猟採集民ムラブリの握力の発達に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発育発達研究	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.5332/hatsuhatsu.2018.81_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 大澤 清二, 下田 敦子, シスコンタミット サターバン, プラディット ナリット	4. 巻 81
2. 論文標題 狩猟採集民ムラブリの体重、座高および長い発育期と生涯を2期に分けるBMIの特徴について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発育発達研究	6. 最初と最後の頁 21-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.5332/hatsuhatsu.2018.81_21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 下田 敦子	4. 巻 16(2)
2. 論文標題 生活習慣の改善を目指した介入研究の効果～ミャンマーにおける学校改善プロジェクトの調査結果から～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 子どもと発育発達	6. 最初と最後の頁 90-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件(うち招待講演 1件/うち国際学会 0件)

1. 発表者名 下田敦子
2. 発表標題 測定し評価するということ “数による表現の内と外” 測定の評価「身体技術としての衣服製作技術を伝承するためのデータ化と解析」
3. 学会等名 日本発育発達学会第17回大会「シンポジウム」
4. 発表年 2019年

2 版

1. 発表者名 下田 敦子
2. 発表標題 カヤン（首長族）の最新データ カヤン人女性にとっての首輪の装着とは
3. 学会等名 一般社団法人ミャンマー友好協会「ミャンマー友好イベント」（招待講演）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 Atsuko Shimoda	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Myanmar Book Cente Co., Ltd., Shobi Printing Co., Ltd.	5. 総ページ数 228
3. 書名 Development of a Methodology for Optimizing the Oral Transmission of Traditional Clothes - Making Techniques in a Pre-literate Society	

1 1 . 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

1 2 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4 . 備考

-